

12
月



美園小だより

令和7年11月28日
さいたま市立美園小学校
第185号 児童数 1042名
Tel 048(812)6611
Fax 048(878)6660

素朴な「問い」

校長 河野 秀樹



<課題解決をする子>

本校では、よりよい授業づくりのために各学年が研修を進めています。3年生の理科の研究授業では、事前アンケートの結果を基に実態を分析し、授業を構想しました。アンケート項目の「学びの動機」が、全体的に高い数値ではありましたが、ばらつきがあることから「内発的動機」を高める必要性があると考え、「自分で問いを立てる活動」などの手立てを取り入れました。授業では、子どもたちは実験の内容や方法、形態などを選択し、学習問題「物は形をかえると重さかわるのだろうか」を調べて考えました。Aさんは「変わる」と予想しながら、自分一人や友だちと共に積み木や紙を使って調べました。結果は、変わったり変わらなかったりしてしまいました。そして「一体どっちなのだろう」と迷い、新たに粘土を使って実験を行っていました。

12月はクリスマスの季節です。あちこちにぎやかな装飾が施されています。皆さんは「サンタクロースっているのかなあ」と考えたことはありませんか。子どもたちからも「いるよ」「いないよ」などの声が聞かれます。今からおよそ130年前、アメリカでの話です。8歳の女の子が「サンタクロースって、本当にいるのでしょうか？」という手紙をニューヨーク・サン新聞社に送りました。新聞社はその質問に、「社説」で「この世の中に、愛や、人へのおもいやりや、まごころがあるのとおなじように、サンタクロースもたしかにいます。（一部抜粋）」などと愛情に満ちた味わい深い返事を書きました。

イラストレーターの和田誠さんは、知人の娘（こよみ）さんのために次のような歌を作りました。

空はどうして青いの？ 海の色がうつるから
海はどうして広いの？ 魚がいっぱい泳ぐから
魚はどうしてはねるの？ 雲をそばで見たいから
雲はどうして白いの？ かもめの好きな色だから
かもめはどうして飛ぶの？ 虹を渡ってみたいから
虹はどうしてきれいな？ こよみが空に描いたから

この歌は、後に妻の平野レミさんが歌ったということです。子どもの素朴な問いがいいなあと思いました。それに加えて、子どもの立場に立った素晴らしい答えだとも思いました。

子どもは、幼いころから身近な物事や出来事などに素朴な「問い」をもちます。しかし、大人になるにつれてなかなか表面に出てこなくなるようです。今はスマホの時代。分からないことは、その場で手軽に調べることができます。学校教育では、子どもたちの素朴な問いを引き出し、それを肯定的に受け止めながら、一人一人が問題解決していく指導方法を展開していきます。

参考：「サンタクロースっているんでしょうか？」 偕成社
参考：「わたくし大画報」 和田誠 ポプラ社